

男女共同参画における ポジティブ・アクション

セミナーのテーマ
男性医師の目線から見た、男女共同参画

司会： 伊藤 真人

ポジティブアクションとは？

- ・ 社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置

—内閣府男女共同参画局HPより

男女共同参画におけるポジティブアクションとは？

- ・ 単に女性だからという理由だけで女性を「優遇」するためのものではなく、能力を発揮しにくい環境を「是正」するための取組

毎年6月23日から29日までの1週間 「男女共同参画週間」



平成26年度

男女共同参画週間

6/23^月 - 29^日

男女共同参画推進本部

内閣府男女共同参画局ホームページ
<http://www.gender.go.jp/>



男女共同参画局 Facebook
<https://www.facebook.com/danjokuyodosankaku>



平成27年度

男女共同参画週間

6/23^火 ~ 29^月

男女共同参画推進本部

内閣府男女共同参画局ホームページ
<http://www.gender.go.jp/>



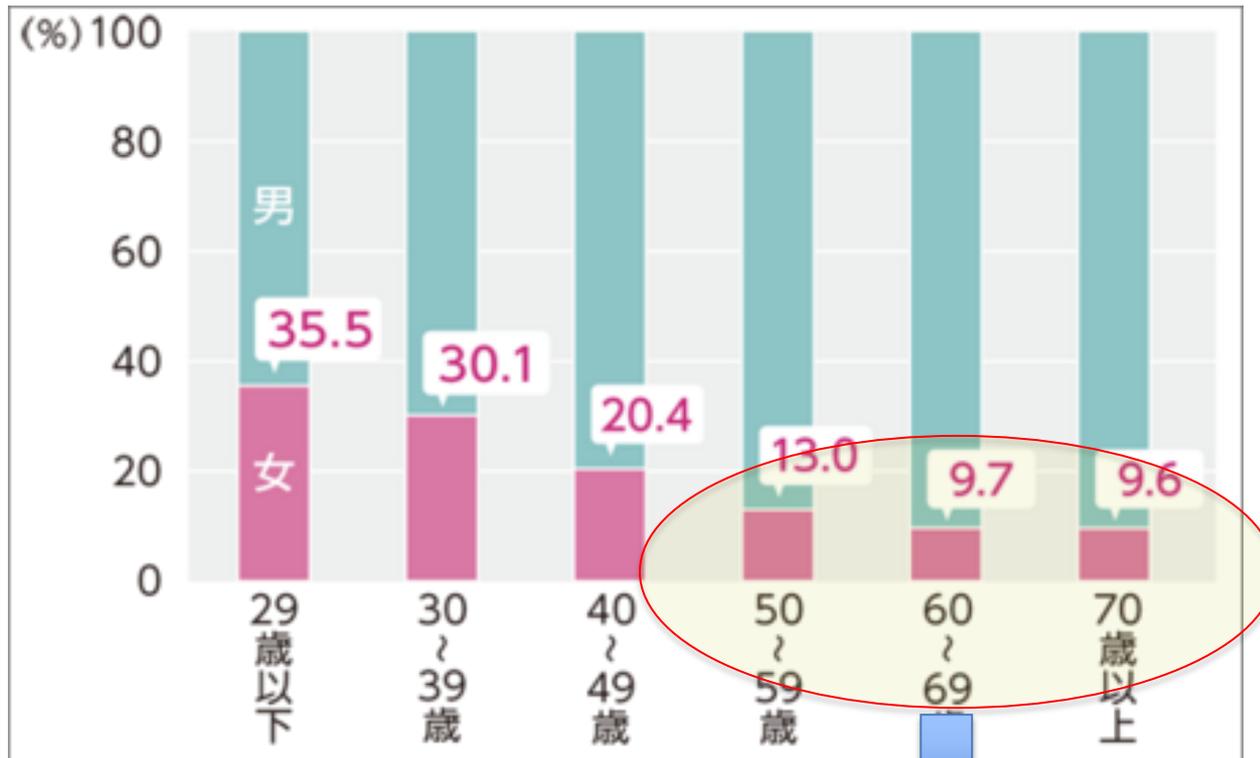
男女共同参画局 Facebook
<http://www.facebook.com/danjokuyodosankaku>



年代別の女性医師の割合（2012年）

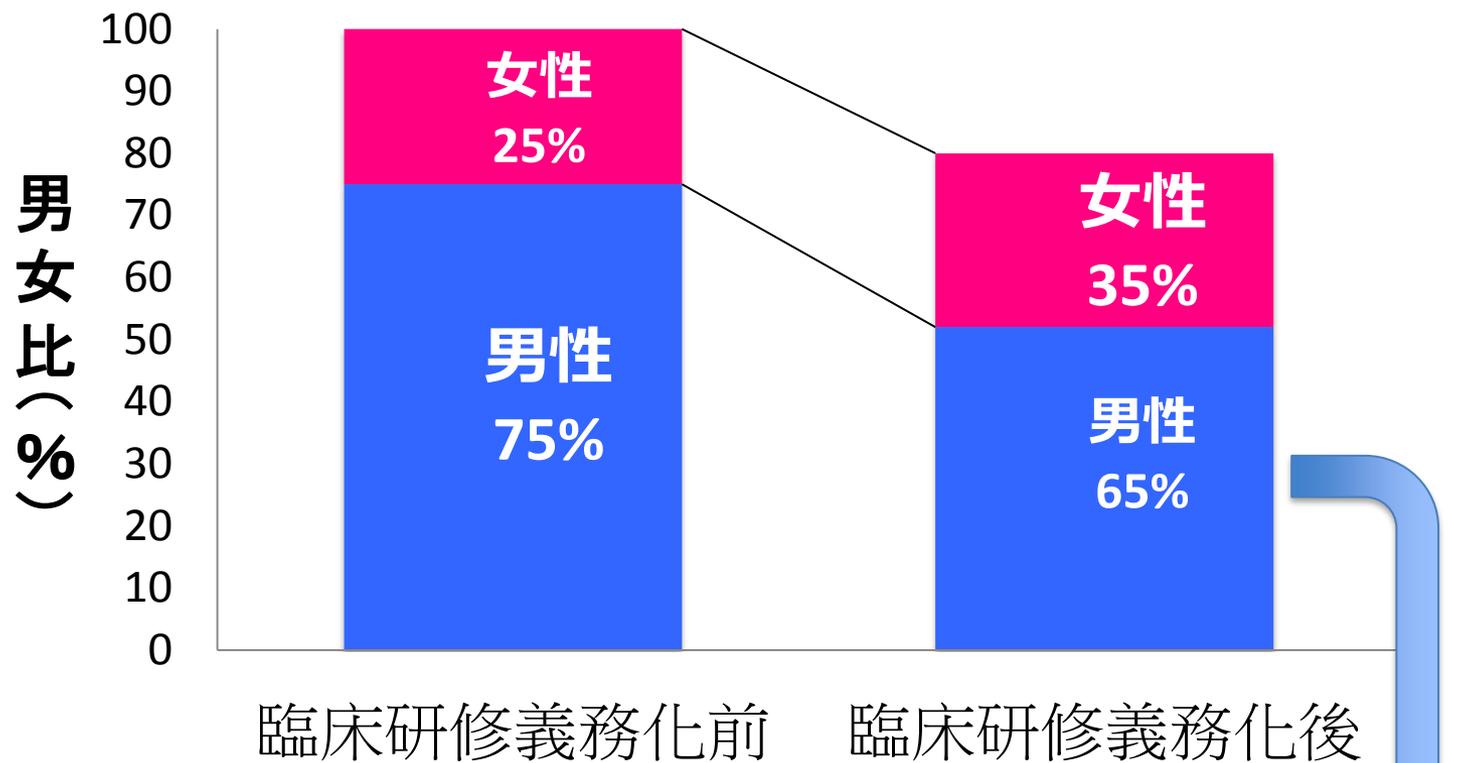
20～30歳代では、女性医師の割合が30%を超える

（出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」（2012年））



医師の 80%以上が男だった時代には
特別あつかいでも、何とかなった？

日本耳鼻咽喉科学会の現況（入局者数）



- ・ 男性医師の絶対数の減少が明らかにみられる
- ・ 今や女性医師のマンパワーなしには、立ち行かない

女性医師が抱える問題点

勤務体制の不備

- ・ 妊娠出産時のマンパワー不足
- ・ 育児時間確保の困難
- ・ 女性が働く環境が確保されない
- ・ 体力的ハンディ

キャリアアップの障害

- ・ 妊娠・出産・育児による修練の中断と復職困難
- ・ 条件に合う職場がない
- ・ 学位研究、留学の制限
- ・ ロールモデルが少ない

復職支援

日本耳鼻咽喉科学会の対応

2014年 男女共同参画委員会を設置

- メンバー

担当理事 飯野ゆき子

委員長 小林一女 →

委員 伊藤真人 木村百合香



- 活動内容

- ポジティブアクションの推進

- HPの作成

- 男女共同参画のシンポジウム・懇談会の開催

司会者 まとめ

女性が活躍している職場には、3つがそろっている

- ・ 制度が“間違った優遇”を生まないような「**公平感**」
- ・ キャリアアップしたいと思わせる「**使命感**」
- ・ 自分が組織や社会の役に立っていると思える「**貢献感**」

- ・ 女性を特別扱いせず、やれる業務は最大限行なう
- ・ **ワークライフバランス**に配慮
- ・ 本人の「**ありたい姿**」に近づけるよう、キャリア支援する

男女を問わず！

女性も男性も
働きやすい職場環境